



平成 26 年 7 月号



概 況

最近の県内経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響がみられるが、基調としては緩やかな持ち直しの動きが続いている。

まず個人消費関連では、駆け込み需要の反動減から大型小売店販売は2ヶ月連続マイナス。自動車販売は、登録車がマイナスとなり、合計では9ヶ月ぶりにマイナスに転じた。

住宅建設は、持家、貸家、分譲住宅のいずれもが減少し、再び前年同月を下回った。公共投資は国が増加したものの、独立行政法人等、県、市町村がいずれも減少し3ヶ月連続のマイナスとなった。

生産関連では、鉱工業生産指数(季節調整値)は前月比2.9%低下の105.5と2ヶ月ぶりに前月を下回った。

25年県産米価格は、前月比で「つがるロマン」、「まっしぐら」とともに低下した。25年県産リンゴ販売は県外出荷量が減少したものの、市場価格の上昇から県外市場販売額は前年を上回って推移している。八戸港の水揚げは、数量、金額共に減少し過去10年で最低だった。

雇用情勢は、有効求人倍率が前月比0.02ポイント上昇の0.83倍となった。2ヶ月連続で0.8倍台となり引き続き高水準を維持している。

○個人消費 5月の**大型小売店販売額**(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比3.2%減と2ヶ月連続のマイナス。業態別では百貨店が同6.0%減、スーパーは同2.4%減となった。5月の**自動車販売台数**は登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比1.0%減の4,278台と9ヶ月ぶりにマイナスに転じた。届出車が同5.9%増と12ヶ月連続のプラスだったものの、登録車が同8.0%減と8ヶ月ぶりにマイナス。

○住宅投資 5月の**新設住宅着工戸数**は全体で前年同月比29.6%減の435戸と再び前年同月を下回った。持家が同23.2%減、貸家が同49.0%減、分譲住宅が同23.3%減となった。

○公共投資 5月の**公共工事請負額**は全体で前年同月比3.9%減の135億8,200万円と3ヶ月連続のマイナス。独立行政法人等が同53.9%減、県が同26.4%減、市町村が同2.0%減となった。一方、国は同44.0%増となった。

○一次産業 農林水産省の発表によると、**25年県産米**の相対取引価格(26年5月)は「つがるロマン」が前月比0.6%低下、前年同月比14.1%低下、「まっしぐら」は前月比1.1%低下、前年同月比14.0%低下となった。5月の**25年県産リンゴ販売**は県外出荷量が前年同月比8.7%減となったものの、消費地市場価格が同28.5%上昇し、県外市場販売額は同17.3%増となった。5月の**八戸港水揚げ**は、イカ釣り漁、大中型旋網漁の水揚げがなかったことから、数量が前年同月比7.9%減、金額が同6.9%減となり、共に5月では過去10年で最低となった。

○生産活動 4月の**鉱工業生産指数**(季節調整値)は前月比2.9%低下の105.5と、2ヶ月ぶりに前月を下回った。食料品、電子部品・デバイス、パルプ・紙などが低下した。原指数では前年同月比1.3%低下の103.6となった。

一 次 産 業

米

☆本県産米価格、2銘柄とも前月比低下

農林水産省が発表した「平成25年産米の相対取引価格(平成26年5月)」によると、県産米の相対取引価格は「つがるロマン」が前月比0.6%低下、前年同月比14.1%低下の1万2,961円/玄米60kg、「まっしぐら」は前月比1.1%低下、前年同月比14.0%低下の1万2,887円/玄米60kgとなった。

公表された92銘柄の平均価格は1万4,467円/玄米60kgとなり、前月比で1.3%低下(87銘柄との比較)、前年同月比では12.0%低下(59銘柄との比較)となった。前月比では比較可能な87銘柄中29銘柄が上昇、56銘柄が低下、2銘柄が横這いだった。

前年同月比でみると、比較可能な59銘柄は全銘柄が低下した。

平成25年産米(東北・北海道主要銘柄)の相対取引価格の推移

(単位:円/玄米60kg)

産地	品種	25年11月	25年12月	26年1月	26年2月	26年3月	26年4月	26年5月	前月比	25年5月	前年同月比
青森	つがるロマン	13,739	13,623	12,942	13,293	13,216	13,044	12,961	-0.6%	15,084	-14.1%
	まっしぐら	12,584	13,124	12,262	13,215	12,891	13,026	12,887	-1.1%	14,978	-14.0%
岩手	ひとめぼれ	14,314	14,547	14,290	14,457	14,274	14,452	14,186	-1.8%	16,046	-11.6%
宮城	ひとめぼれ	14,319	14,294	14,320	14,438	14,269	14,584	14,438	-1.0%	16,260	-11.2%
秋田	あきたこまち	14,621	14,625	14,513	14,280	14,396	14,727	13,909	-5.6%	16,878	-17.6%
山形	つや姫	17,188	17,017	17,264	16,673	16,672	17,614	17,171	-2.5%	-	-
北海道	ななつぼし	14,431	14,239	14,006	14,011	13,941	14,590	14,281	-2.1%	15,756	-9.4%
北海道	ゆめぴりか	17,359	17,179	17,450	17,381	17,121	17,885	17,783	-0.6%	-	-
全銘柄平均価格		14,637	14,582	14,534	14,501	14,449	14,663	14,467	-1.3%	16,442	-12.0%

相対取引価格…①全国出荷団体、②年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、③年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格)

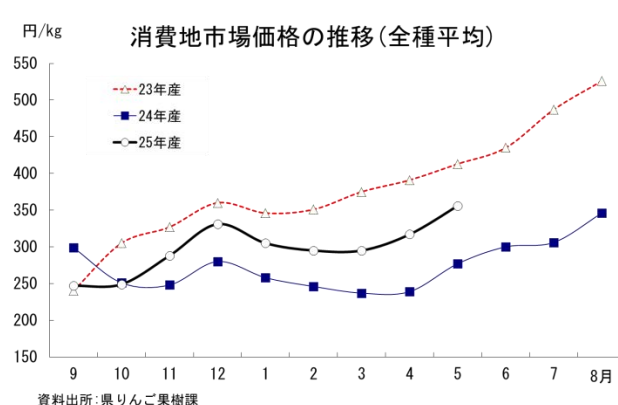
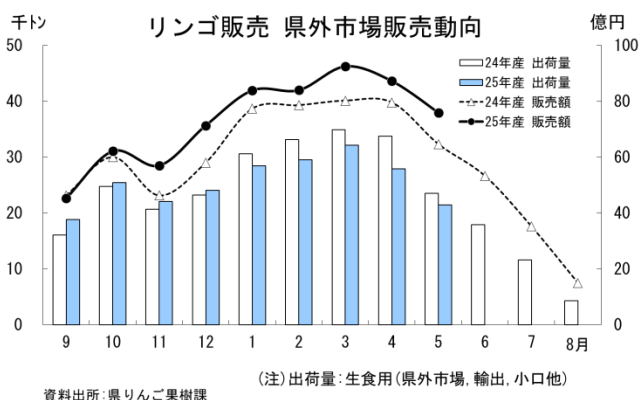
資料出所:農林水産省

りんご

☆消費地市場価格、前年同月比28.5%上昇

25年県産りんご販売、5月の県外出荷量は前年同月比8.7%減の2万1,482トンとなった。これは前3ヶ年の5月平均出荷量を1.2%下回る水準である。価格面をみると、消費地市場価格は「ふじ」が前年同月比26.0%上昇の359円/kg、「王林」が同58.9%上昇の348円/kgとなり、合計では前年同月比28.5%上昇、前3ヶ年比較で11.9%上昇の356円/kgとなった。この結果、県外市場販売額は前年同月比17.3%増、前3ヶ年比較で14.9%増の75億9,100万円となった。

25年産県産りんごは、24年産に比べ入荷量が少なく、高値が続いている。この結果、県外市場への出荷量が前年を下回っているものの、県外市場販売額は上回って推移している。

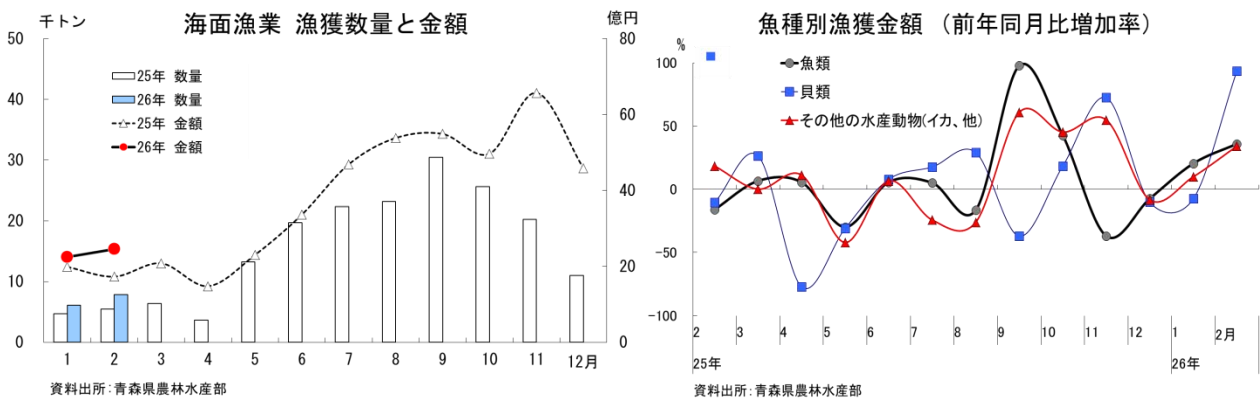


海面漁業

☆ 2月の漁獲数量、前年同月比43.7%増、金額は41.9%増

2月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比43.7%増の7,868トン、一方、漁獲金額は同41.9%増の24億5,404万円となった。これは前年同月に比べ、アカイカ(近海)、ホタテガイ(成貝)、ヤリイカの漁獲数量及び金額が増加したこと、タラの単価が上昇したことによる。

主な魚種別にそれぞれ構成比をみると、漁獲数量はホタテガイ(成貝)が25.8%、スケトウタラが14.8%、アカイカ(近海)が14.1%、タラが13.8%、スルメイカ(近海・船凍)が6.6%などとなった。漁獲金額は、アカイカ(近海)が15.9%で最も多く、次いでホタテガイ(成貝)が14.5%、ナマコが12.2%、ヤリイカが10.7%、タラが9.0%などとなった。



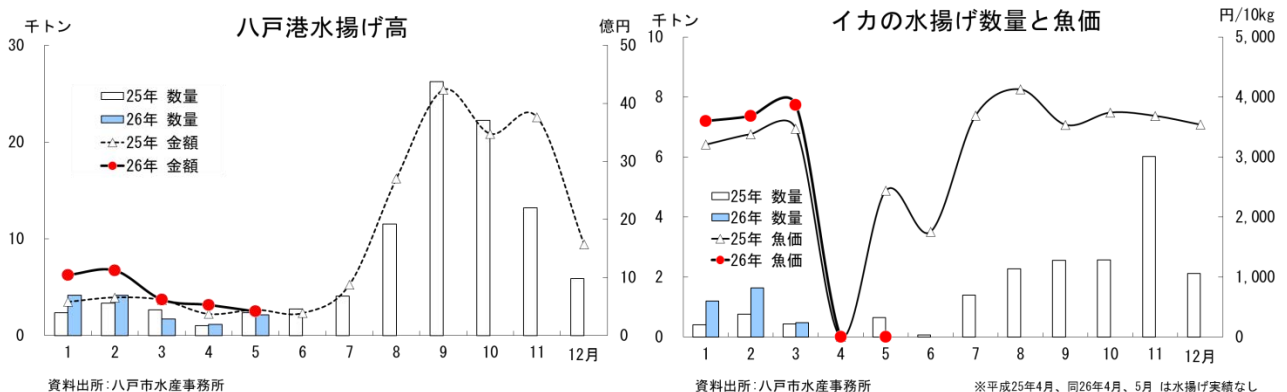
八戸港水揚げ

☆ 5月水揚げ数量、金額とも過去10年で最低

5月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比7.9%減の2,146トン、金額が同6.9%減の4億1,372万円となり、数量、金額共に5月では過去10年で最低となった。

イカ釣り漁及び大中型旋網漁の当月の水揚げはゼロだった。機船底びき網漁は、中小型船のみの水揚げとなり、数量が前年同月比36.1%増の2,000トン、金額が同67.9%増の3億4,467万円となった。

1月からの水揚げ累計は、数量が前年同期比13.9%増の1万3,329トン、金額は同39.6%増の37億2,148万円となった。



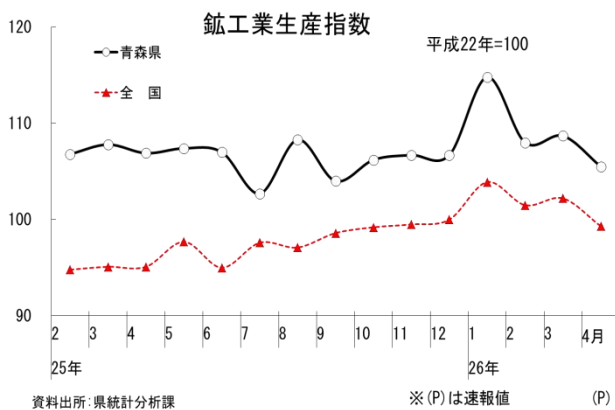
二 次 産 業

鉱工業生産

☆ 鉱工業生産指数、前月比 2.9%低下

4月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成22年=100)は前月比2.9%低下の105.5と、2ヶ月ぶりに前月を下回った。主要6業種をみると、鉄鋼と業務用機械が同0.3%、電気機械が同1.8%上昇したものの、食料品が同3.1%、電子部品・デバイスが同1.0%、パルプ・紙が同4.5%それぞれ低下した。このほかでは、石油・石炭製品工業が同53.0%、非鉄金属工業が同43.3%、金属製品工業が同22.4%上昇したものの、生産用機械工業が同69.6%、化学工業が同43.3%それぞれ低下した。

原指数では、生産用機械工業、非鉄金属工業、金属製品工業などが低下に寄与し、前年同月比1.3%低下の103.6となった。



業種別生産指数(平成26年4月)

業 種 ()内は一万分比ウェイト	季節調整済指数		原 指 数	
	平成22年=100	前月比 (%)	平成22年=100	前年同月比 (%)
鉱 工 業 (10,000.0)	105.5	△ 2.9	103.6	△ 1.3
食 料 品 (2,410.0)	107.9	△ 3.1	106.6	3.6
鉄 鋼 (1,200.9)	111.2	0.3	115.9	4.6
電子部品・デバイス (1,048.2)	138.9	△ 1.0	135.4	23.5
業務用機械 (1,005.1)	109.2	0.3	101.8	0.8
パルプ・紙 (722.3)	92.2	△ 4.5	93.9	3.0
電気機械 (429.2)	107.6	1.8	101.2	11.6

資料出所: 県統計分析課

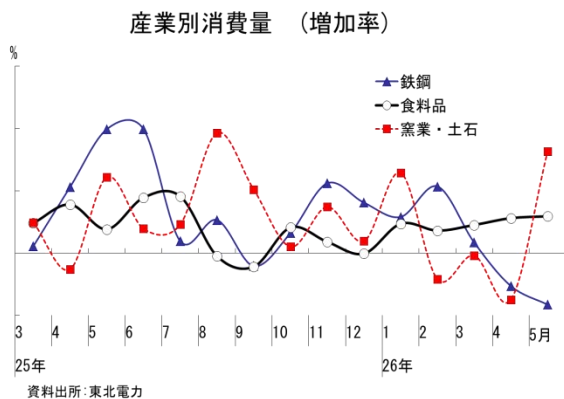
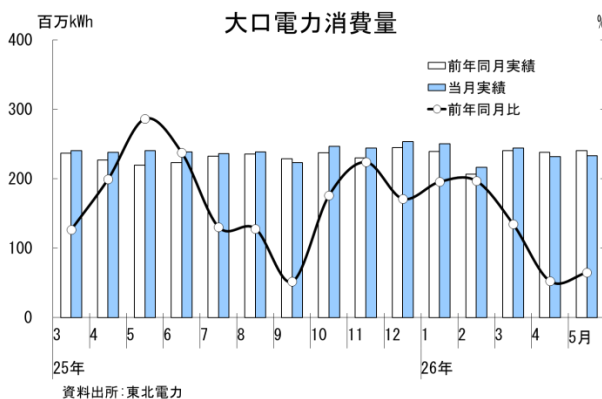
大口電力

☆ 2ヶ月連続マイナス、前年同月比 1.8%減

5月の県内大口電力消費量は、前年同月比1.8%減の2億3,608万kWhとなった。うち製造業は同1.3%減の1億7,531万kWhとなった。

製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、窯業・土石が同16.3%増、機械が同6.7%増、食料品が同5.9%増、鉱業が同5.7%増、非鉄金属が同4.1%増となった。一方、化学は同24.3%減、パルプ・紙は同8.6%減、消費ウェイトの高い鉄鋼が同8.3%減となった。

当月の県内大口電力消費量は、消費ウェイトの高い鉄鋼を始め、化学、パルプ・紙などが前年実績を下回り、全体では2ヶ月連続でマイナスになった。



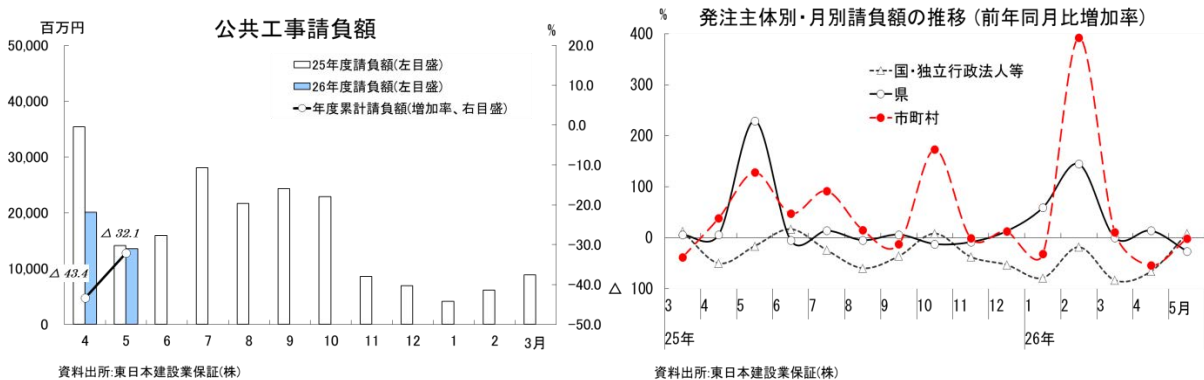
公共工事

☆前年同月比 3.9%減、独立行政法人等、県が減

5月の東日本建設業保証（株）の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比 3.9%減の 135 億 8,200 万円と 3 ヶ月連続のマイナスとなった。

当月の請負額は、独立行政法人等は東日本高速道路、弘前大学などの減少により同 53.9%減の 6 億 8,000 万円となった。県は農林水産部が減少し、同 26.4%減の 38 億 7,800 万円となった。市町村は十和田市、青森市などで増加したものの、野辺地町、五戸町などが減少し、同 2.0%減の 42 億 2,800 万円となった。一方、国は国土交通省などで増加し、同 44.0%増の 36 億 3,800 万円となった。

当月は国が好調であったものの、独立行政法人等、県、市町村がそれぞれ前年実績を下回り、全体を押し下げた。



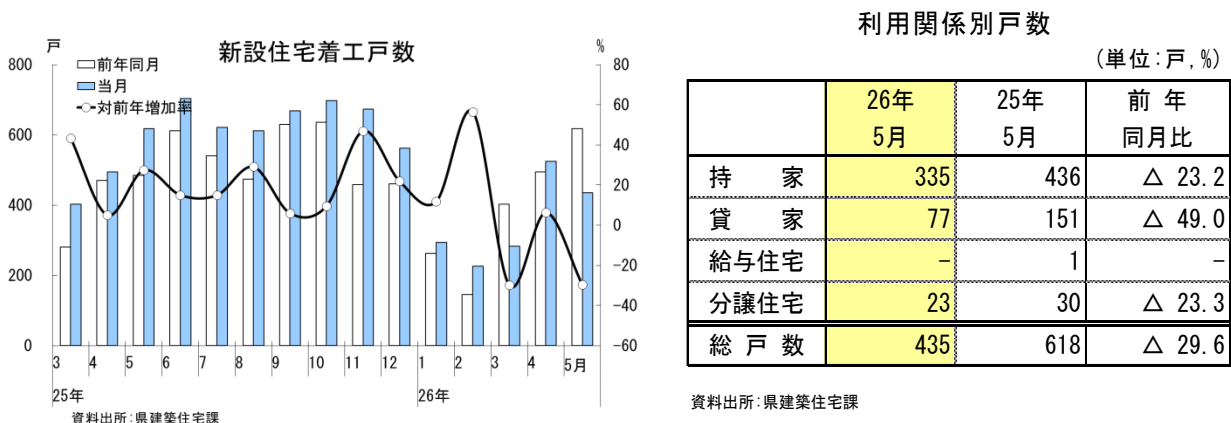
住宅着工

☆駆け込み需要の反動減、前年同月比 29.6%減

5月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比 29.6%減の 435 戸と再び前年同月を下回った。利用関係別では、持家が同 23.2%減、貸家が同 49.0%減、分譲住宅が同 23.3%減となった。

地域別にみると、黒石市、十和田市、三沢市、平川市、郡部で増加した。一方、青森市、弘前市、八戸市、むつ市で減少した。五所川原市、つがる市は横ばいだった。

持家は、つがる市のみで増加し、他地域ではすべて前年実績を下回った。貸家は弘前市、黒石市、五所川原市で増加したものの、青森市、八戸市などで減少した。分譲は黒石市、十和田市、三沢市、郡部などで増加した。当月の新設住宅着工は、駆け込み需要の反動減の影響などから各利用関係別ともに前年実績を下回った。



三次産業

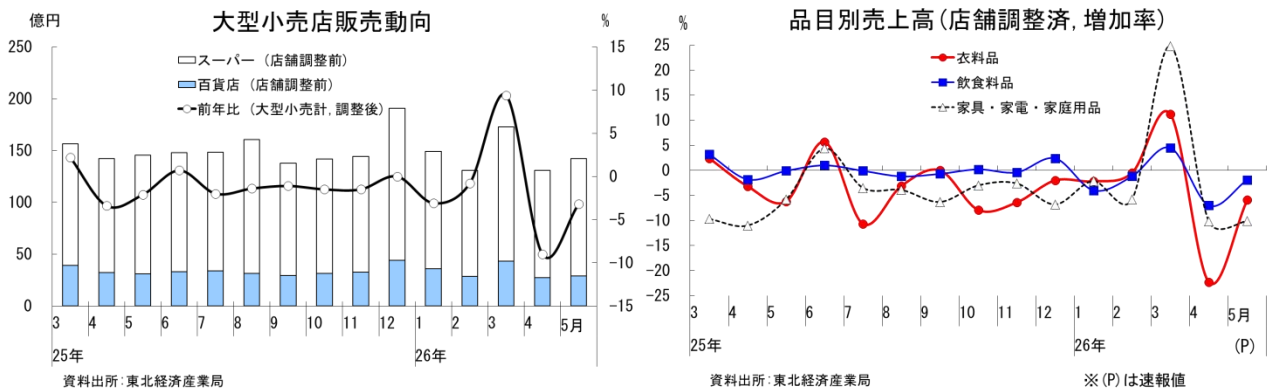
大型小売店販売

☆ 駆け込み需要の反動減継続、前年同月比 3.2%減

5月の県内大型小売店販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比 3.2%減と2ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同 6.0%減、スーパーは同 2.4%減となった。

品目別では、衣料品が同 5.9%減、ウエイトの高い飲食料品が同 1.9%減、家具・家電・家庭用品が同 10.1%減となった。衣料品は、紳士服で動きがみられたものの夏物衣料や呉服などが不振だった。食料品は精肉や野菜、惣菜などが好調だったものの、全体では前年を幾分下回る動きとなった。家具・家電・家庭用品は、家電製品や家具などが不振だった。

当月は、消費税率引上げ前の駆け込み需要の反動減による販売額の減少が引き続きみられたものの、減少幅は縮小しており、今後の回復が期待される内容だった。

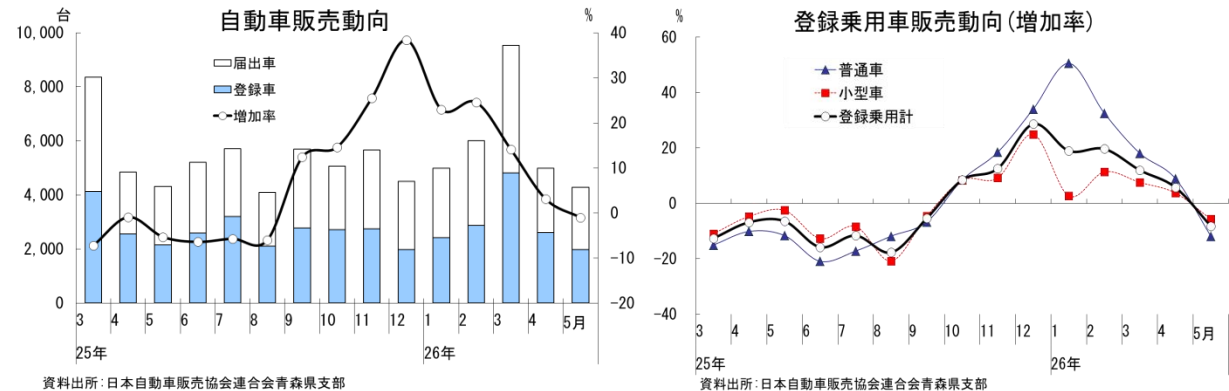


自動車販売

☆ 駆け込み需要の反動減、前年同月比 1.0%減

5月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比 1.0%減の 4,278 台と9ヶ月ぶりにマイナスに転じた。内訳別にみると、登録車は普通乗用車が同 11.9%減、小型乗用車が同 5.7%減、貨物車が同 11.4%減となり、登録車合計では同 8.0%減と8ヶ月ぶりにマイナスに転じた。届出車は乗用車が同 11.0%増、貨物車は同 8.6%減となり、届出車合計では同 5.9%増と12ヶ月連続のプラスとなった。届出車を含む乗用車については、登録乗用車合計が同 8.2%減となったものの、届出乗用車合計が同 11.0%増となり、全体では同 0.8%増と9ヶ月連続のプラスとなった。

県内の自動車販売は、届出車が前月同月を上回ったものの、消費税率引上げ前の駆け込み需要の反動減で登録車がマイナスに転じ、登録車、届出車(軽自動車)合計では前年実績を下回った。



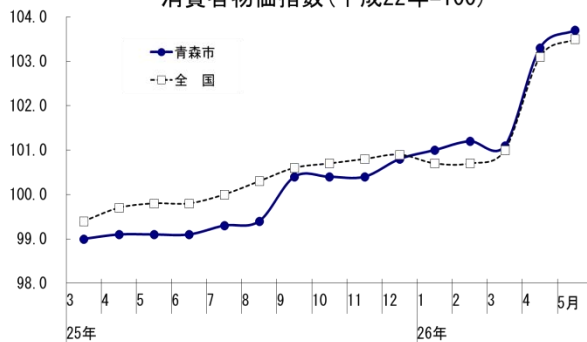
消費者物価指数

☆前月比 0.4%上昇、前年同月比 4.7%上昇の 103.7

5月の青森市の消費者物価指数(平成22年=100)は前月比0.4%上昇、前年同月比4.7%上昇の103.7となった。主要費目別に前月と比べると、「光熱・水道」が電気代などの値上がりにより同1.5%、「交通・通信」が自動車等関係費などの値上がりにより同0.8%、「食料」が生鮮果物などの値上がりにより同0.5%上昇した。前年同月との比較では、電気代、灯油などの値上がりによる「光熱・水道」(10.8%)のほか、「食料」(6.6%)、「交通・通信」(4.9%)などの変動が大きかった。

なお、「生鮮食品を除く総合指数は」前月比0.3%上昇、前年同月比4.0%上昇の103.3となった。

消費者物価指数(平成22年=100)



資料出所: 県統計分析課

費目別指数の動き(平成26年5月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	103.7	0.4	4.7
食料	103.4	0.5	6.6
住居	98.6	0.0	0.6
光熱・水道	122.1	1.5	10.8
家具・家事用品	91.1	△0.6	1.4
被服及び履物	105.4	△0.7	2.9
保健医療	99.2	0.2	1.2
交通・通信	107.3	0.8	4.9
教育	100.0	0.3	3.3
教養娯楽	96.0	△0.1	4.2
諸雑費	109.0	0.0	4.8

資料出所: 県統計分析課

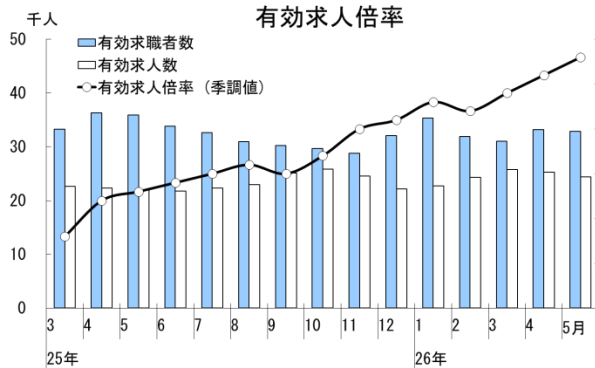
雇用動向

☆有効求人倍率 0.02ポイント上昇の 0.83倍

5月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比11.3%増の2万4,382人、有効求職者数は同8.6%減の3万2,866人となった。この結果、有効求人倍率(季節調整値)は前月比0.02ポイント上昇の0.83倍となった。新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比13.6%増、臨時・季節求人数が同5.7%増、パート求人数が同3.5%増となり、全数では同8.9%増の9,567人となった。主要産業別の新規求人動向では、電子部品・デバイス、食料品、情報通信機械、輸送用機械などの製造業や、医療・福祉、サービス業、小売業などで増加がみられた。

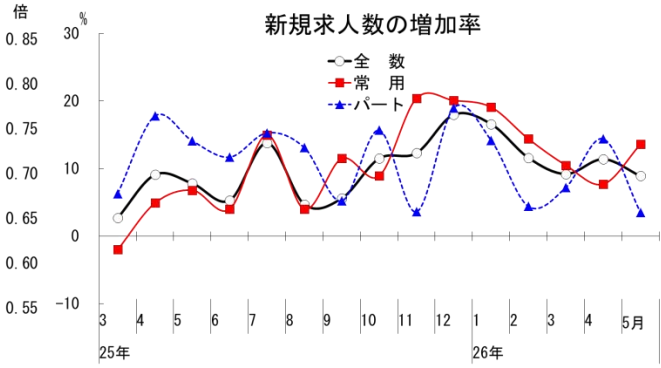
県内の雇用状況は有効求人倍率が、昭和38年1月の調査開始以降、平成3年2月の0.87倍に次いで過去2番目に高い0.83倍になるなど改善基調が続いている。

有効求人倍率



資料出所: 青森労働局

新規求人数の増加率



資料出所: 青森労働局

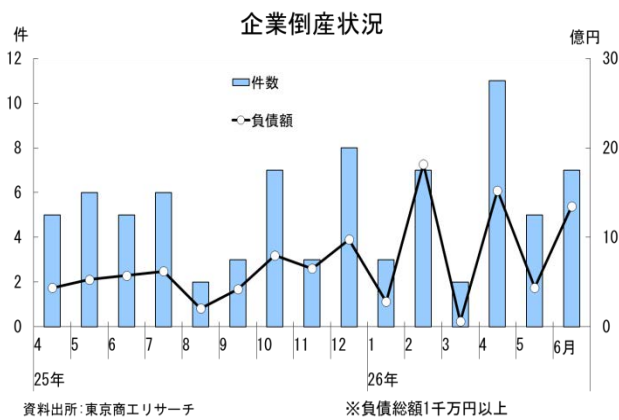
企業倒産

☆ 倒産件数、負債総額ともに増加に転じる

6月の県内企業倒産は、件数が前年同月比2件増の7件、負債総額は同7億7,200万円増の13億4,500万円となった。前月比では件数が2件増、負債総額が9億700万円増となった。

倒産の内訳をみると、業種別では、建設業が2件、製造業が1件、小売業が1件、サービス業他が3件となった。地域別では青森市と北津軽郡で各2件、八戸市、十和田市、下北郡で各1件の発生となった。

当月の県内企業倒産は、いずれも小・中規模の倒産で大口倒産はなかったが、負債額9億円の倒産が1件あり、この倒産が負債額を押し上げた。4月の消費増税に伴う駆け込み需要の反動減により、売り上げ確保に苦戦を強いられる企業が多いなか、燃料費の高騰も加わり、5月は倒産件数、負債総額ともに減少したものの、6月には再度増加に転じた形となった。



業種別・原因別件数 (平成26年6月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業		放漫経営	
建設業	2	過小資本	1
製造業	1	他社倒産の余波	
卸売業		既往のシワ寄せ	1
小売業	1	信用低下	
金融・保険業		販売不振	5
不動産業		売掛金回収難	
運輸業		在庫状況悪化	
情報通信業		設備投資過大	
サービス業 他	3	その他	
合計	7	合計	7

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

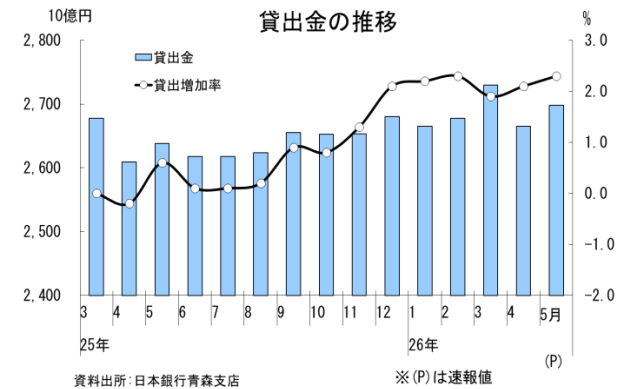
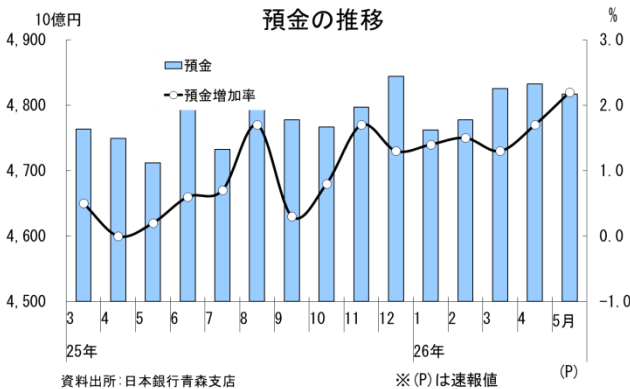
金融動向

預金、貸出金とも13ヶ月連続のプラス

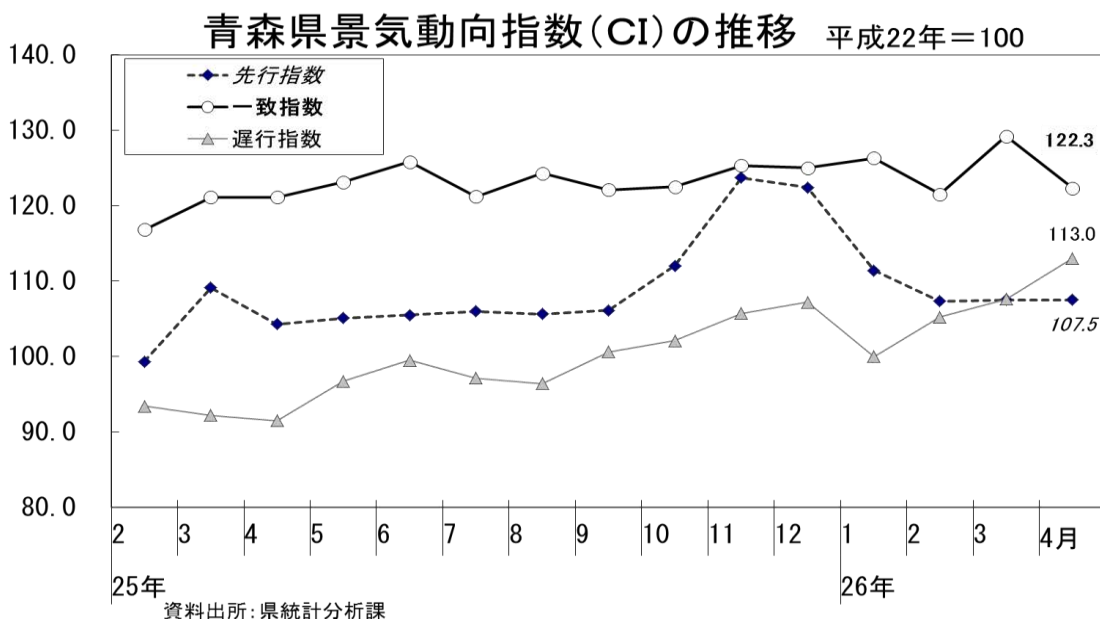
5月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比2.2%増の4兆8,172億円、貸出金は同2.3%増の2兆6,982億円となり、ともに前年同月比のプラス幅は拡大し13ヶ月連続のプラスとなった。

預金は、個人が前年を上回って推移する中、法人のプラス幅が拡大したことから、全体のプラス幅は前月比0.5ポイント拡大した。

一方、貸出金は地公体のプラス幅が拡大したことから、全体のプラス幅は前月比0.2ポイント拡大した。



青森県景気動向指数



一致指数 採用系列の寄与度

上段: 寄与度がプラスを○、マイナスを●で表示
下段: 寄与度

採用系列名	25年 11月	12月	26年 1月	2月	3月	4月
1. 大型小売店販売額(既存店)	● △ 0.04	○ 0.58	● △ 1.35	○ 0.90	○ 3.17	● △ 3.94
2. 旅行取扱高	○ 0.17	○ 0.85	● △ 0.90	● △ 0.38	○ 1.46	● △ 1.50
3. 鉱工業生産指数	○ 0.15	● △ 0.04	○ 2.56	● △ 2.20	○ 0.17	● △ 1.11
4. 大口電力使用量	○ 0.26	● △ 0.09	○ 0.45	● △ 1.93	● △ 0.05	● △ 0.86
5. 有効求人倍率(全数)	○ 1.69	○ 0.23	○ 0.92	● △ 1.30	○ 0.83	○ 0.81
6. 輸入通関実績(八戸港)	● △ 0.04	● △ 1.32	● △ 0.28	● △ 0.29	○ 0.14	○ 1.16
7. 東北自動車道IC利用台数	○ 0.26	● △ 0.54	● △ 0.09	○ 0.56	○ 0.57	● △ 1.52

資料出所: 県統計分析課

※ 景気動向指数 (C I : Composite Index) とは

1. 前月と比較した採用系列の変化量を合成し、基準年度を100として指数化したもので、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標である。C Iには次の3指数がある。

- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の動きの予測に利用
- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状把握に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから事後的な確認に利用

2. C Iは景気変動の大きさ(景気の山の高さや谷の深さ)やテンポ(景気の拡張や後退の勢い)を測定する。C Iが上昇している時が景気の拡張期(好況)であり、低下している時が景気の後退期(不況)である。

国内景気

☆概況

国内景気は緩やかな回復基調が続いているが、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きもみられる。個人消費は引き続き弱めとなっているが、一部に持ち直しの動きもみられる。設備投資は増加している。住宅建設は駆け込み需要の反動により、減少している。輸出は横ばいとなっており、輸入はこのところ弱含んでいる。雇用情勢は着実に改善している。

☆大型小売店販売（既存店ベース）

—前年同月比 1.2%減—

5月の大型小売店販売は前年同月比 1.2%減となった。業態別にみると、百貨店が同 2.1%減、スーパーが同 0.8%減となった。商品別にみると、衣料品が同 2.6%減、その他商品が同 5.6%減、飲食料品は同 1.4%増となった。

☆住宅建設

—3ヶ月連続でマイナス—

5月の新設住宅着工戸数は前年同月比 15.0%減の 6万 7,791戸と、3ヶ月連続のマイナスとなった。利用関係別にみると、貸家が同 3.1%増と 15ヶ月連続のプラスとなったものの、持家は同 22.9%減、分譲住宅も同 27.1%減とそれぞれ 4ヶ月連続のマイナスとなった。

☆企業倒産

—倒産件数、5月では 23年ぶりの 900件割れ—

5月の企業倒産は、件数が前年同月比 20.2%減の 834件、負債総額は同 0.4%減の 1,726億円となった。倒産件数は再びマイナス。負債総額は 100億円以上の大型倒産が 4ヶ月ぶりに発生したものの、負債 1億円未満の小規模倒産が 7割を占め、4ヶ月連続で前年同月を下回った。

☆為替動向

—6月末終値 101円 38銭—

6月の東京為替市場は前月末から続落、101円台後半でスタート。上旬は米長期金利の上昇と日経平均株価の上昇などから 102円台後半まで円安が進んだ。中旬以降は米国の緩和的金融政策が当面続くとの観測などから 101円台後半まで円が買われた。月末にかけては、日経平均株価の下落や米長期金利の低下などから 101円台前半まで円高が進み、月末終値は 101円 38銭。

☆鉱工業生産指数

—2ヶ月ぶりに上昇—

5月の鉱工業生産指数は前月比 0.5%上昇の 99.8(季節調整値)と 2ヶ月ぶりに上昇した。輸送機械、繊維、電子部品・デバイスが上昇に寄与した。品目別では反応用機器、マシニングセンタ、普通乗用車等であった。なお生産予測調査では、6月は輸送機械、情報通信機械等の低下から当月比 0.7%低下を予測。

☆新車販売（除く軽自動車）

—3ヶ月連続マイナス、前年同月比 0.7%減—

6月の国内新車販売は前年同月比 0.7%減の 26万 5,171台と 3ヶ月連続マイナスとなった。内訳別では、乗用車が同 1.8%減、貨物車は同 7.2%増となった。乗用車は普通乗用車が同 5.1%減と 3ヶ月連続のマイナス、一方、小型乗用車は同 1.5%増と 3ヶ月ぶりのプラスとなった。

☆完全失業率

—前月比 0.1ポイント低下の 3.5%—

5月の完全失業率は前月比 0.1ポイント低下の 3.5%となった。完全失業者数は前年同月比 37万人減の 242万人となり、48ヶ月連続で減少した。求職理由別にみると、勤め先や事業の都合が同 22万人減の 43万人、自己都合が同 10万人減の 90万人などとなった。

☆消費者物価指数

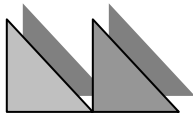
—前月比 0.4%上昇の 103.5—

5月の全国消費者物価指数(2010年=100)は前月比 0.4%上昇、前年同月比 3.7%上昇の 103.5となった。前月に比べ光熱・水道、交通・通信などが上昇した。生鮮食品を除く総合指数は前月比 0.4%上昇、前年同月比 3.4%上昇の 103.4となった。

☆国際収支

—経常収支、黒字幅縮小—

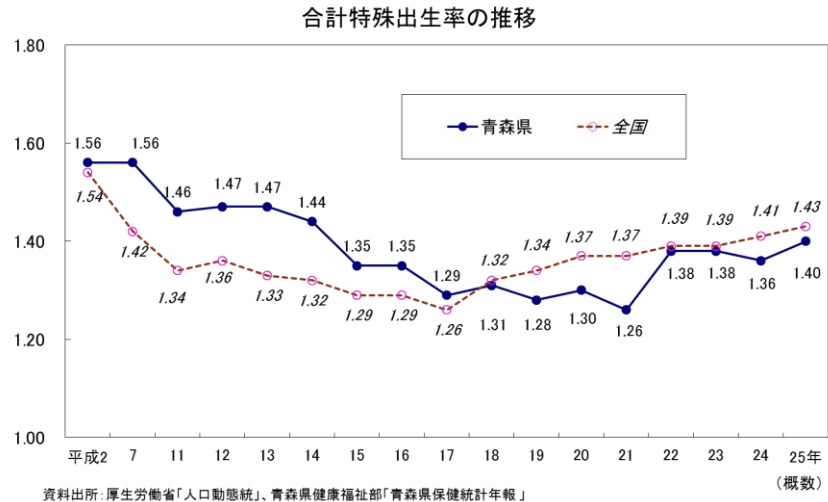
5月の経常収支額は、黒字幅が縮小、前年同月比 7.7%減の 5,228億円となった。貿易・サービス収支が赤字幅を縮小したものの、第一次所得収支は黒字幅縮小、第二次所得収支は赤字幅を拡大した。内訳は、第一次所得収支が 1兆 4,779億円の黒字。一方、貿易収支は 6,759億円、サービス収支は 682億円、第二次所得収支は 2,110億円のそれぞれ赤字。



今月の統計

青森県の合計特殊出生率の推移

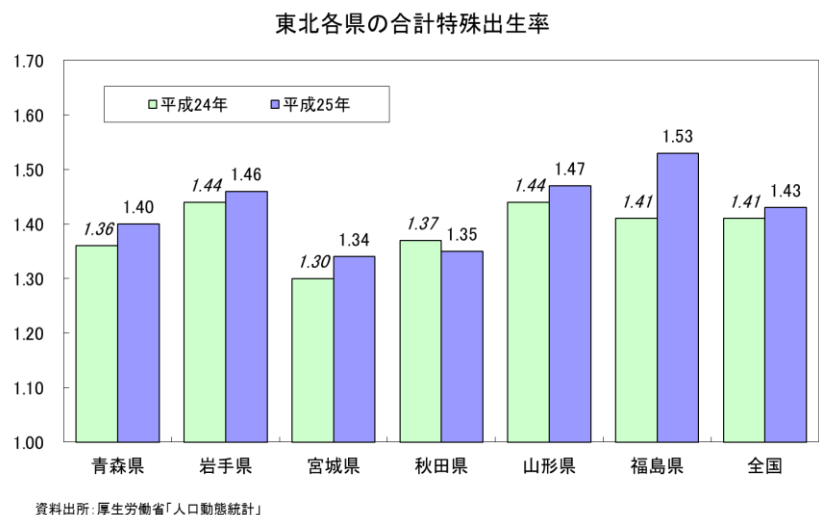
厚生労働省の発表によると、平成25年の青森県の合計特殊出生率(概数値)は1.40、全国平均は1.43となり、青森県は前年比0.04ポイント、全国は同0.02ポイントそれぞれ上昇した。合計特殊出生率の推移をみると、平成2年には青森県が1.56、全国平均が1.54であったが、以降、青森県が全国平均を上回



る状態で、ともに低下傾向を示した。しかし、平成18年に逆転し、それ以降、青森県の合計特殊出生率は全国平均を下回って推移している。青森県は、21年の1.26まで低下傾向を示したが、22年1.38に上昇した後、横這いといった動きを示している。全国平均は平成17年に1.26と過去最低となったが、翌18年の1.32以降、上昇傾向を示している。

平成25年の東北各県の合計特殊出生率をみると、トップが福島県の1.53(前年比0.12)、次いで山形県の1.47(同0.03)、岩手県の1.46(同0.02)、青森県の1.40(同0.04)、秋田県の1.35(同0.02)、宮城県の1.34(同0.04)の順となった。

平成24年と比べると、合計特殊出生率が上昇したのは、福島県、青森県、宮城県、山形県、岩手県の5県で、秋田県だけが低下した。全国平均の1.43と比べると、福島県、山形県、岩手県が上回っているものの、青森県、宮城県、秋田県は下回っている。



※合計特殊出生率…一人の女性が生涯に産むと推定される子どもの数であり、その年における女性の年齢別出生率を合計した値である。年齢構造の影響を除いた出生率であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。

県内

- 4日 平成25年の合計特殊出生率、前年比0.04ポイント増の1.40**
厚生労働省が発表した平成25年の人口動態統計(概数)によると、本県の合計特殊出生率(女性1人が生涯に産む子どもの推定人数)は前年比0.04ポイント増の1.40となった。また、出生数から死亡数を引いた自然増減数は△7,986人となり、減少幅は過去2番目となった。
- 10日 平成25年の外国人延べ宿泊者数、5万人突破**
県のまとめによると、平成25年の本県の外国人延べ宿泊者数は5万1,650人となり、東日本大震災前の平成22年以来3年ぶりに5万人を突破した。主要国・地域別にみると台湾が1万5,610人、韓国が1万2,750人だった。
- 11日 北海道新幹線の県内新駅名、「奥津軽いまべつ」に決定**
JR北海道は北海道新幹線(平成27年度末開業予定)の2つの新駅の駅名について、青森県今別町の駅を「奥津軽いまべつ」、北海道北斗市の駅を「新函館北斗」とすると発表した。
- 23日 本県の平成25年度国民年金保険料納付率59.8%**
厚生労働省の発表によると、平成25年度の国民年金保険料の納付率は60.9%で前年度の59.0%から1.9ポイント改善した。本県の納付率は59.8%で全国平均を下回り全国36位となったものの、前年度比1.9ポイント上昇した。
八戸前沖さばブランド推進協議会、平成25年度最優秀賞
「八戸前沖さば」の認定、普及・拡大に努める八戸前沖さば推進協議会が、水産庁の平成25年度の魚の国のしあわせ大賞「実証事業部門」で、青森県内の団体として初めて最優勝賞に選ばれた。
- 29日 むつ市長選、宮下氏初当選**
前職の死去に伴うむつ市長選で、即日開票の結果、宮下宗一郎氏が初当選した。投票率は52.98%で前回は7.00ポイント上回った。

国内

- 9日 平成26年1-3月期のGDP改定値、上方修正**
内閣府が発表した平成26年1-3月期の国内総生産(GDP)改定値は、物価変動の影響を除いた実質で前期比1.6%増、年率換算で6.7%増となった。速報値から実質で0.1ポイント、年率換算で0.8ポイント上方修正された。
4月の旅行収支、44年ぶり黒字
財務省が発表した国際収支速報によると、4月の旅行収支は177億円の黒字となった。旅行収支の黒字は昭和45年7月以来約44年ぶりとなる。
- 18日 平成26年3月末の個人金融資産、前年同期比51兆円増**
日銀が発表した資金循環統計(速報)によると、平成26年3月末の個人金融資産残高は前年同期比3.3%(51兆円)増の1,630兆円となった。内訳は株式・出資金が同11.3%増の148兆円、投資信託が同10.2%増の78兆円、保険・年金準備金が同2.5%増の442兆円、現金・預金が同2.1%増の865兆円だった。
5月訪日外客数、前年同月比25.3%増の109万7千人
日本政府観光局の発表によると、5月の訪日外客数(推計値)は、羽田空港の国際線発着枠の拡大や東南アジアでのビザ緩和の効果などにより、前年同月比25.3%増の109万7千人となり、単月としては平成26年4月の123万2千人に次ぐ過去2番目の記録となった。
- 24日 「骨太の方針」「日本再興戦略」「規制改革実施計画」、閣議決定**
政府は経済財政運営と改革の基本方針「骨太の方針」と新たな成長戦略「日本再興戦略」を、「規制改革実施計画」とともに閣議決定した。

全国の主要経済指標

年次及び月	日証券発行高 (平均残高・億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2010年=100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	大型小売店 販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2008 (H20)	760,537	557,055	436,848	1.865	15,646	122,920	110.7	1,093,519		209,511
2009 (H21)	764,627	569,486	428,567	1.655	15,480	69,301	86.5	788,410		197,758
2010 (H22)	771,516	578,485	420,417	1.551	13,321	71,608	100.0	813,126		195,791
2011 (H23)	792,805	598,688	425,858	1.452	12,734	35,929	97.2	834,117		195,933
2012 (H24)	809,455	613,690	433,824	1.364	12,124	38,346	97.8	882,797	128,456	195,916
2013 (H25)	835,998	640,633	449,134	1.256	10,855	27,823	97.0	980,025	150,536	197,774
2013 (H25) 3	828,371	631,290	441,471	1.325	929	1,591	95.1	71,456	18,573	16,598
4	831,109	630,769	436,249	1.321	899	6,860	95.7	77,894	6,370	15,508
5	832,813	632,194	436,493	1.319	1,045	1,733	97.7	79,751	9,682	15,889
6	828,305	635,807	439,885	1.303	897	3,837	95.0	83,704	14,637	16,385
7	834,873	629,734	439,803	1.296	1,025	1,996	97.6	84,801	13,038	17,127
8	835,572	629,421	440,521	1.291	819	1,663	97.1	84,343	14,102	15,823
9	833,865	630,050	444,827	1.277	820	1,902	98.6	88,539	18,916	15,059
10	835,418	630,216	441,348	1.277	959	1,553	99.2	90,226	14,130	15,911
11	839,935	634,827	444,172	1.271	862	1,379	99.5	91,475	11,049	16,963
12	870,015	640,633	449,134	1.258	750	1,344	100.0	89,578	12,377	21,399
2014 (H26) 1	871,198	637,558	446,922	1.254	864	3,151	103.9	77,843	7,918	17,117
2	854,749	638,211	446,974	1.250	782	1,162	101.5	69,689	10,912	14,690
3	861,177	651,751	453,240	1.234	814	1,170	102.2	69,411	22,945	19,562
4	860,389	650,546	448,609	1.233	914	1,411	99.3	75,286	13,563	14,677
5	861,273			1.229	834	1,726	P 99.8	67,791	10,203	15,929
前月比%	0.1	-0.2	-1.0	-0.004%ポイント	-8.8	22.4	0.5	-10.0	-24.8	6.1
前年同月比%	3.4	3.1	2.8	-0.090%ポイント	-20.2	-0.4	0.8	-15.0	5.4	-1.2
資料出所	日本銀行			東京商工リサーチ		経済産業省	国土交通省		経済産業省	

※企業倒産は負債額1千万円以上

※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※大型小売店販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出台数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2010年=100	消費者 物価指数 2010年=100	景気動向 指数 (一致) 2010年=100	完全 失業率 (季節調整) (%)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年々末) (100万ドル)	東京 外為相場 (月々平均) (円/US\$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年=100)
2008 (H20)	4,228	105.7	102.1	-	4.0	8,859.56	163,798	1,030,647	103.39	147.854
2009 (H21)	3,924	100.1	100.7	-	5.1	10,546.44	132,867	1,049,397	93.61	153.228
2010 (H22)	4,212	100.0	100.0	-	5.1	10,228.92	171,706	1,096,185	87.75	168.232
2011 (H23)	3,525	101.5	99.7	-	4.6	8,455.35	95,507	1,295,841	79.76	165.195
2012 (H24)	4,572	100.6	99.7	-	4.3	10,395.18	47,036	1,268,125	79.79	169.679
2013 (H25)	4,562	101.9	100.0	-	4.0	16,291.31		1,266,815	97.71	188.334
2013 (H25) 3	571	101.1	99.4	105.5	4.1	12,397.91	12,831	1,254,356	94.75	175.959
4	309	101.5	99.7	106.0	4.1	13,860.86	7,844	1,257,964	97.71	176.051
5	308	101.6	99.8	107.0	4.1	13,774.54	5,666	1,250,243	101.08	177.618
6	379	101.6	99.8	107.1	3.9	13,677.32	3,777	1,238,713	97.43	175.427
7	402	102.2	100.0	108.3	3.8	13,668.32	6,004	1,254,033	99.71	176.854
8	311	102.4	100.3	108.5	4.1	13,388.86	1,571	1,254,204	97.87	180.025
9	446	102.6	100.6	109.4	4.0	14,455.80	5,948	1,273,446	99.24	180.555
10	354	102.5	100.7	110.7	4.0	14,327.94	-1,543	1,276,751	97.85	181.605
11	379	102.5	100.8	111.2	4.0	15,661.87	-5,969	1,275,352	100.03	184.132
12	359	102.8	100.9	111.9	3.7	16,291.31	-6,799	1,266,815	103.46	188.334
2014 (H26) 1	434	102.9	100.7	114.7	3.7	14,914.53	-15,861	1,277,058	103.94	187.995
2	491	102.8	100.7	113.1	3.6	14,841.07	6,077	1,288,206	102.13	189.005
3	666	102.8	101.0	114.7	3.6	14,827.83	1,597	1,279,346	102.27	187.695
4	293	105.8	103.1	111.1	3.6	14,304.11	P 1,874	1,282,822	102.56	187.313
5	304	P 105.7	103.5	P 111.1	3.5	14,632.38	P 5,228	1,283,920	101.79	186.105
前月比%	3.9	0.3	0.4	0.0ポイント	-0.1%ポイント	2.3	-	0.1	-0.8	-0.6
前年同月比%	-1.3	4.4	3.7	-	-0.6%ポイント	6.2	-7.7	2.7	0.7	4.8
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省	日本銀行	日経新聞社	

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超額 (億円)	県内金融機関		企業倒産(負債額1千万円以上)		手形交換高 (百万円)	不渡手形 実数 (百万円)
	(人)	社会動態(人) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)		
2008 (H20)	1,406,738	-8,573	-601	43,889	27,585	135	54,700	613,664	4,403
2009 (H21)	1,392,976	-6,286	-639	45,183	27,167	102	40,856	475,903	1,093
2010 (H22)	1,380,834	-5,082	-1,062	45,718	26,717	79	28,409	462,688	705
2011 (H23)	1,371,440	-3,465	-693	47,408	26,781	73	34,830	471,228	550
2012 (H24)	1,361,053	-5,311	-1,287	47,633	26,780	57	52,781	485,157	391
2013 (H25)	1,347,650	-5,925	-1,762	48,252	27,298	58	11,199	474,343	105
2013 (H25) 3	1,345,439	-5,670	-108	47,633	26,780	3	103	33,957	19
4	1,338,972	762	-208	47,496	26,089	5	435	53,238	150
5	1,339,044	-229	34	47,116	26,379	6	529	38,215	73
6	1,338,181	-55	-236	48,018	26,179	5	573	29,714	34
7	1,337,580	6	-64	47,328	26,177	6	620	44,702	76
8	1,337,098	74	-143	47,985	26,238	2	205	30,741	7
9	1,336,664	65	-95	47,776	26,550	3	420	48,855	31
10	1,336,206	-24	-225	47,669	26,528	7	798	40,103	10
11	1,335,656	-140	-173	47,972	26,531	3	650	29,338	3
12	1,334,803	-318	-621	48,440	26,804	8	975	38,752	21
2014 (H26) 1	1,333,729	-132	349	47,623	26,655	3	281	43,029	32
2	1,332,587	-264	-182	47,777	26,780	7	1,820	36,025	19
3	1,331,624	-5,127	-198	48,252	27,298	2	60	41,630	10
4	1,325,767	244	-209	48,326	26,649	11	1,524	40,601	21
5	1,325,297	-260	15	P 48,172	P 26,982	5	438	28,050	14
6	1,324,485		-217			7	1,345		
前月比 %	-0.1	-	-	-0.3	1.2	40.0	207.1	-30.9	-32.7
前年同月比%	-1.0	-	-	2.2	2.3	40.0	134.7	-26.6	-80.1
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		青森県銀行協会		

※人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数
 ※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

※日銀券の年次計数は年度累計
 ※手形交換高、不渡手形実数の年次の欄は年度計数

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額 (百万円)		新規求人 倍率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2008 (H20)	106.6	6,457	3,305	2,630	672	172,034	60,381	0.57	0.38
2009 (H21)	90.3	5,356	3,002	2,084	566	189,665	63,816	0.53	0.29
2010 (H22)	100.0	4,708	3,138	1,286	534	187,168	57,357	0.64	0.39
2011 (H23)	95.8	4,890	3,051	1,581	518	182,648	54,547	0.75	0.46
2012 (H24)	104.7	5,578	3,286	1,844	582	208,618	55,074	0.92	0.61
2013 (H25)	106.4	6,461	4,193	1,958	632	197,238	60,716	1.06	0.72
2013 (H25) 3	107.8	403	216	159	41	22,940	4,915	0.95	0.64
4	106.9	494	358	115	57	35,443	6,773	1.01	0.67
5	107.4	618	436	151	72	14,136	5,266	1.01	0.68
6	107.0	704	434	225	78	15,904	4,339	1.00	0.69
7	102.7	622	397	180	68	28,111	7,573	1.00	0.70
8	108.3	612	440	160	68	21,675	7,285	0.99	0.71
9	104.0	668	465	178	76	24,365	12,720	0.99	0.70
10	106.2	697	474	209	78	22,887	4,680	1.06	0.72
11	106.7	673	443	198	72	8,600	2,447	1.04	0.75
12	106.7	562	313	215	54	6,920	2,043	1.09	0.76
2014 (H26) 1	114.8	294	169	110	30	4,161	1,830	1.17	0.78
2	108.0	227	102	113	21	6,158	837	1.14	0.77
3	108.7	283	175	86	30	8,872	4,918	1.15	0.79
4	P 105.5	525	388	107	59	20,068	7,713	1.20	0.81
5		435	335	77	51	13,582	3,878	1.22	0.83
前月比%	-2.9	-17.1	-13.7	-28.0	-13.5	-32.3	-49.7	0.02ポイント	0.02ポイント
前年同月比%	-1.3	-29.6	-23.2	-49.0	-28.4	-3.9	-26.4	0.21ポイント	0.15ポイント
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課			東日本建設業保証		青森労働局		

※鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による
 ※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

※求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	大型小売店 販売額 (百万円)	新車 登録台数 (台)	乗用車登録 届出台数 (台)	消費者 物価指数 2010年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	雇用保険		青森県景気 ウォッチャー調査 (現状判断DI)	あおぎん BSI
						受給人員 (人)	受給金額 (百万円)		
2008 (H20)	172,323	27,157	42,722	102.4	291,752	-	17,927	-	-
2009 (H21)	165,738	26,929	41,192	100.3	302,596	-	19,497	-	-
2010 (H22)	170,306	29,949	42,970	100.0	270,767	-	14,886	-	-
2011 (H23)	175,736	26,512	38,137	100.1	287,873	-	14,439	-	-
2012 (H24)	181,246	33,496	49,397	99.3	274,133	-	13,070	-	-
2013 (H25)	179,920	31,442	49,982	99.6	267,928	-	12,291	-	-
2013 (H25) 3	15,635	4,132	6,814	99.0	314,484	8,150	975	-	-
4	14,242	2,561	3,892	99.1	314,286	8,333	986	57.8	-15.9
5	14,542	2,153	3,422	99.1	288,421	9,647	1,213	-	
6	14,778	2,595	4,188	99.1	266,040	8,788	961	-	
7	14,852	3,205	4,662	99.3	264,852	9,255	1,036	51.5	0.7
8	16,077	2,103	3,259	99.4	253,893	8,939	1,010	-	
9	13,790	2,784	4,503	100.4	238,310	7,801	812	-	
10	14,186	2,718	3,957	100.4	239,619	7,239	829	51.5	17.5
11	14,427	2,748	4,448	100.4	231,726	6,630	683	-	
12	19,083	1,986	3,576	100.8	272,465	7,265	748	-	
2014 (H26) 1	14,897	2,421	4,097	101.0	220,923	11,970	1,832	54.8	6.4
2	13,091	2,872	4,971	101.2	245,666	9,677	1,296	-	
3	17,284	4,814	7,625	101.1	338,731	7,491	884	-	
4	13,084	2,603	4,160	103.3	253,114	7,508	929	46.0	-
5	P 14,216	1,981	3,448	103.7	286,793	8,493	1,016	-	
前月(期)比%	-	-23.9	-17.1	0.4	13.3	13.1	9.3	-8.8ホ イト	-11.1ホ イト
前年同月(期)比%	-3.2	-8.0	0.8	4.7	-0.6	-12.0	-16.3	-	-
資料出所	東北経産局	自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	県統計分析課	青森銀行		

※大型小売店販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

※雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸水産揚高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量 (ト)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (ト)	金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)
2008 (H20)	312,042	234	136	129,647	23,303	14,006	39,184	144,333	166,315
2009 (H21)	288,061	257	144	139,275	21,694	9,692	19,402	113,721	105,780
2010 (H22)	297,566	261	168	119,470	23,405	9,244	24,003	151,688	118,867
2011 (H23)	215,428	364	214	121,511	21,044	9,178	29,937	111,720	103,081
2012 (H24)	274,892	263	164	112,395	18,670	6,785	29,059	107,146	122,288
2013 (H25)			191	97,591	19,672	7,651	35,866	122,070	141,664
2013 (H25) 3	34,915	237	127	2,658	613	525	4,541	6,801	10,975
4	33,756	239	155	1,033	371	620	4,214	14,112	12,821
5	23,523	277	-	2,331	445	950	2,072	10,173	11,110
6	17,874	300	-	2,746	385	707	2,057	5,533	11,633
7	11,639	306	-	4,083	877	571	0	16,446	13,208
8	4,336	346	-	11,521	2,704	773	3,245	8,113	10,738
9	18,836	247	138	26,242	4,232	554	2,077	7,943	12,496
10	25,439	249	175	22,248	3,477	457	1,909	9,168	12,353
11	22,057	288	209	13,181	3,761	603	1,891	10,374	9,008
12	24,081	331	184	5,875	1,574	830	5,792	8,328	11,731
2014 (H26) 1	28,422	305	196	4,176	1,043	698	4,222	11,047	12,072
2	29,540	295	194	4,157	1,120	567	4,467	7,203	11,997
3	32,106	295	200	1,694	618	608	3,468	8,989	10,033
4	27,872	317	246	1,156	527	546	2,942	10,403	29,909
5	21,482	356	-	2,146	414	849	1,907	11,646	11,379
前月比 %	-22.9	12.3	-	85.6	-21.5	55.5	-35.2	11.9	-62.0
前年同月比%	-8.7	28.5	-	-7.9	-6.9	-10.6	-8.0	14.5	2.4
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

※りんご年次欄はりんご年度の計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			パスポート 発行件数
	気温 (°C)	降水量(ml)	日照時間(h)	(件)
2013 (H25)	10.5	1,664.0	1,515.5	14,968
2013 (H25) 4	7.5	119.0	170.2	1,060
5	12.5	36.5	155.6	977
6	18.1	9.0	232.2	1,161
7	21.8	144.0	136.5	1,407
8	24.7	308.0	185.2	1,749
9	20.4	238.5	172.1	1,240
10	14.6	204.5	101.1	1,164
11	6.7	136.0	87.2	1,139
12	2.0	121.0	71.1	1,219
2014 (H26) 1	-1.6	168.0	40.5	1,280
2	-1.3	88.5	76.9	989
3	2.5	145.5	139.2	1,149
4	8.8	14.0	259.5	1,004
5	14.6	46.0	206.8	1,087
前月比 %	5.8°C	32.0ml	-52.7h	8.3
前年同月比%	2.1°C	9.5ml	51.2h	11.3
資料出所	気象庁			外務省

☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び期	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2012 (H24)			
1~3月	16.3	-8.8	6.9
4~6月	15.9	-5.7	15.3
7~9月	0.0	-21.1	5.3
10~12月	0.0	-17.1	5.6
2013 (H25)			
1~3月	-23.3	-5.3	-1.9
4~6月	-24.0	-23.1	-3.6
7~9月	-6.3	5.7	3.7
10~12月	18.6	7.5	24.1
2014 (H26)			
1~3月	9.8	5.7	6.3
4~6月	-35.0	-25.7	-17.0
資料出所	青森銀行BSI(14.4~6月期は見直し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2013 (H25) 4	292,815	179,449	234,256	589	243	600	119	62	124
5	293,749	180,088	234,376	495	261	438	182	73	110
6	293,602	180,072	234,299	645	310	513	200	90	173
7	293,503	179,953	234,266	842	367	706	141	106	124
8	293,531	179,933	234,253	486	246	460	151	79	112
9	293,422	179,803	234,203	640	308	574	147	106	121
10	293,219	179,831	234,124	710	282	553	260	75	110
11	293,100	179,796	234,117	613	312	582	170	72	187
12	292,949	179,685	234,038	516	285	385	109	103	165
2014 (H26) 1	292,769	179,582	233,951	537	268	534	75	22	105
2	292,437	179,415	233,919	693	340	572	29	16	71
3	292,241	179,248	233,857	1,207	613	915	55	28	90
4	290,568	178,399	233,011	607	276	592	158	81	117
5	291,307	178,626	233,065	463	229	402	108	67	76
6	291,194	178,519	232,962						
前月比 %	-0.0	-0.1	-0.0	-23.7	-17.0	-32.1	-31.6	-17.3	-35.0
前年同月比%	-0.8	-0.9	-0.6	-6.5	-12.3	-8.2	-40.7	-8.2	-30.9
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課		

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企業倒産					
				青森市		弘前市		八戸市	
	青森	弘前	八戸	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
2013 (H25) 4	0.51	0.44	0.69	2	98	0	0	0	0
5	0.51	0.43	0.68	3	222	1	92	0	0
6	0.54	0.48	0.70	1	90	0	0	2	440
7	0.59	0.48	0.75	2	200	1	200	1	30
8	0.61	0.52	0.83	0	0	0	0	1	120
9	0.62	0.67	0.93	1	10	0	0	0	0
10	0.70	0.72	0.91	2	215	0	0	3	213
11	0.67	0.66	0.94	0	0	0	0	2	620
12	0.53	0.45	0.75	0	0	1	23	3	759
2014 (H26) 1	0.52	0.40	0.73	0	0	1	135	0	0
2	0.65	0.51	0.81	4	370	0	0	1	90
3	0.73	0.56	0.86	0	0	0	0	2	60
4	0.69	0.55	0.81	6	472	0	0	1	100
5	0.69	0.56	0.77	2	88	0	0	0	0
6				2	185	0	0	1	100
前月比 %	0.00 ポイント	0.01 ポイント	-0.04 ポイント	0.0	110.2	-	-	-	-
前年同月比%	0.18 ポイント	0.13 ポイント	0.09 ポイント	100.0	105.6	-	-	-50.0	-77.3
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店					

※有効求人倍率は原数値による